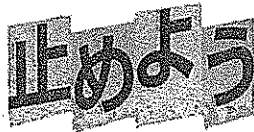


9/19 五福

戦争しない国続きたい

バングラデシュの伝統工芸ノクシカタ刺しゅうを日本に紹介し、同国の農村女性の地位向上、経済的自立などをめざし活動している女性が、戦争法案を廃案にと訴えています。「決して戦争をしてはいけません。平和を紡ぐのがノクシカタです。ノクシカタから学ぼう」と。



戦争法案

バングラデシュ伝統工芸

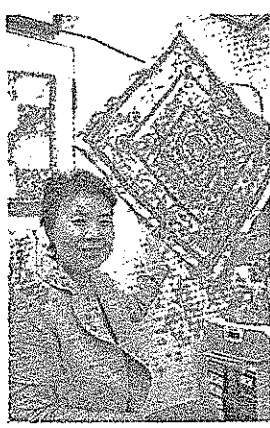


東京都中野区で「フエアトレッド・ロッシュン」を開く馬上（まがみ）美恵子さん（59）です。店内にはクッションカバーやポーチ、衣類などが所狭しと並びます。店では刺しゅう教室も開き、バングラデシュの文化を伝えます。

平和を紡ぐノクシカタ刺しゅう



古文献からデザインを起したノクシカタを紹介する馬上さん。東京都中野区へ、子から孫へと引き継がれ、平和を紡ぎ続ける隊員として同地域の農村で栄養改善の指導を中心に行っている。1983年から3年間、青年海外協力隊の隊員として同地域の農村で栄養改善の指導を中心に行っている。女性の地位は低く、社会参加からはほど遠い現実を目の当たりにしました。



古文献からデザインを起したノクシカタを紹介する馬上さん。東京都中野区へ、子から孫へと引き継がれ、平和を紡ぎ続ける隊員として同地域の農村で栄養改善の指導を中心に行っている。

首都ダッカから西南西に300キロ離れたシエンール県ジャシャ郡が、馬上さんの活動地にした。帰国後、活動をとにも伝え、戦争法案反対の思いを述べました。「平和な国であり続けたい。そのためにできることを精いっぱいやる」

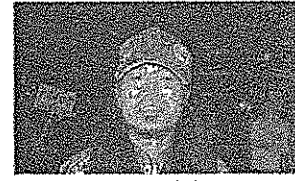
「女性の収入が栄養改善、保健衛生、子どもたちへの教育など生活改善に使われるようになりまし。一方で、30年前と変わらぬ女性の尊厳が奪われている現実もあります。この活動をやり続けなくてはと気持ちを新たにしています」

2日に帰国したばかりの馬上さん。「戦争法案を廃案に」と国会前に12万人が集まり、全国1000カ所以上で数十万人の人が立ち上がった8月30日の出来事を日本にいた仲間さんからの電話で知りました。現地スタッフにも伝え、戦争法案反対の思いを述べました。「平和な国であり続けたい。そのためにできることを精いっぱいやる」

（岩井亜紀）

を出す工夫も伝えます。現在は、15の村で約200人の女性に技術指導し、作品を買い取っています。

戦争法案止める



ATSさん

希望を感じる運動
ATS（アツシ）さん（46）は横浜市、ラッパリーかつて、小林多喜二が特高警察に

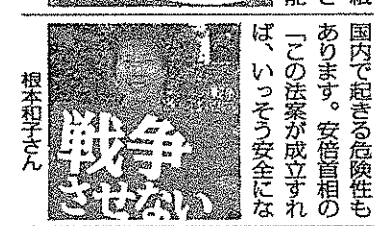
憲法と民主主義を守る動きが大きくなっていることは、喜びであり、希望を感じます。（14日夜、国会前）



長谷川順子さん

「国民はだまされな」と自分で書いた紙を掲げる長谷川順子さん（42）は埼玉県飯能市在住。19歳、9歳、6歳の子とがいます。今日は夫が子どもたちの面倒をみてくれるので、参加しました。7月の衆院の強行採決の直後から行動に参加していますが、明らかに周りの人の反応が温かくなってきました。これからは、自分のできる最大の行動をしていきます。（14日、国会前）

怒りを忘れない
さいたま市在住の根本和子さん（82）アメリカといっしょに海外で武力行使をすれば、9・11同時多発テロのようなことが日本国内で起きる危険性もあります。安倍首相の「この法案が成立すれば、いっそう安全になる」との説明はうそとしか思えません。友人・知人を行頭に誘い、「参加します」といって来た人もいます。この怒りを持続させたい。（14日、国会前）



根本和子さん